

7月行事まとめ

マリン実習II スポーツ健康科学科3年生

日時：7月1日～7月3日

会場：滋賀県大津市 BBC ウォータースポーツセンター

スポーツ健康科学科（スポ科）は、2年生は9月にマリン実習Iで沖縄の海に潜り、スキューバダイビングの免許を取ります。3年生は北信越大会とインターハイの合間の7月にキャンプ生活を送りながら、2泊3日でウインドサーフィンやカヤックなどのマリンスポーツを生涯スポーツとして体験しました。

ボート部は全員が総合学科ですので、スポ科の生徒にとって水上は苦手な分野になるのかも知れませんが、スポ科はさすがです。ほとんどの生徒がすぐに慣れ、いとも簡単に普通の高校生が経験できないスポーツを自分の得意分野にしているようでした。



準決勝 対遊学館高校 ●0-4



先制点が欲しい初回ノーアウト一塁二塁でのバントの失敗でチャンスを逃しました。しかしながら、その後相手の大きな

飛球を何度も見事な守備でアウトにして、チャンスを待ちました。ようやく6回、3連打がでてセカンドからホームを狙い

ましたが相手の素晴らしい返球にあい、ホームでタッチアウトになるなど、まさに一進一退の手に汗を握る試合でした。残念ながら最後は遊学館に押し

切られてしまいましたが、県立高校の最後の砦として夏の大会の歴史に津幡高校の名を残しました。



強いぞ津幡高校野球部！！（ベスト4）

津幡高校野球部が夏の甲子園大会石川県予選で4強（津幡、遊学館、金沢、小松大谷）になりました。春の大会で星稜・航空石川を破り夏の大会のシード権を獲得し、4試合を日頃の練習の成果である堅守で戦い抜き、今回は県立で唯一4強に入りました。

2回戦 対飯田高校 ○5-4

初戦のためかお互いに緊張しており、津幡らしからぬエラーが3もありましたが、12安打5得点と好調な打撃陣が活躍してリードを守りました。



9回裏に1点差まで詰め寄られましたが、最後はエース林選手が最後のバッターを三振に討ち取りゲームセットです。

3回戦 対小松高校 ○7-0（7回コールド）



相手の繰り出すタイプの違う3人のピッチャーを順番に打ち崩し、最終的には7回コールド勝ちをしました。初戦を突破して落ち着きを取り戻したナインは、この試合から準決勝までは一度もエラーが無く、津幡らしい安心してみていられる守備になりました。

準々決勝 対小松工業高校 ○4-2

春の大会で負けた小松工業にリベンジを果たしました。初回1点を先制しましたが、4回表に2点を返されました。



しかし、その裏すぐに同点とし、その後2点を追加して最終的には連投のエース林選手が素晴らしいピッチングを見せ、ベスト4入りを果たしました。

